

## 《カトリック大和高田教会 お知らせ》 2025年1月19日

典 礼 暦	日 時 など
年間第2主日	1月19日 (日) 集会祭儀 8:30
	1月23日 (木) ミサ 10:30
使徒聖パウロの回心(祝)	1月25日 (土) ミサ 8:00
年間第3主日	1月26日 (日) ミサ 8:30
	1月30日 (木) ミサ 10:30
	2月 1日 (土) ミサ 8:00

### 【中央協議会】

- 「2025年のキリスト教一致祈祷週間は、1月18日(水)～25日(水)、全世界で行われます。  
今年のテーマは「あなたはこのことを信じますか」(ヨハネ11・26)。  
詳細は掲示板をご覧ください。

- ▶ 奈良地区：「奈良南朝祷会・キリスト教一致祈祷集会」  
日時：1月21日(火)10時～  
会場：カトリック大和八木教会

### 【京都司教区】

- 現時点で、京都司教区から公表されている教区内の巡礼指定聖堂は以下の通りです。
  - ・京都カテドラル河原町教会 (京都)
  - ・丹後教会宮津教会堂 (京都)
  - ・福知山教会 (京都)
  - ・奈良教会 (奈良)
  - ・大津教会 (滋賀)
  - ・鈴鹿教会 (三重)
  - ・四日市教会 (三重)



### 【奈良ブロック】

- 「奈良ブロック・典礼研修会」が開催されます。  
日時：1月25日(土)、14:00～  
講師：菅原友明神父様、会場：大和郡山教会  
どなたでも参加出来ます。  
詳細は、掲示板のポスターをご覧ください。
- ◎「高山右近列福記念ミサ」  
日時：2月3日(月)、10時～  
場所：大和八木教会

### 【大和高田教会】

- 本日(1月19日(日))集会祭儀後、小教区評議会を開催します。  
新旧の担当の方は、小聖堂にお集まり下さい。
- 聖年が開幕しました。  
主日の日本語ミサ後に『聖年の祈り』を全員で唱えます。  
「祈り」のカード(青色B5版)は受付で配布しています。
- 「教区時報・1月号」に大塚司教・年頭書簡が記載されています。  
『聖年』を迎えるために、ご一読ください。

◎「聖書の分かち合い」(Sr.ローマ)：1月23日(木)ミサ後

#### ◆ 教会掃除当番

1月25日(土) 9:00 : C地区  
2月 2日(日) ミサ後 : 奉仕日(全員)

## 1月19日 年間第2主日 ヨハネ2章1～11節 神の国の宴会の奉仕者

いきなり年間第二主日が来るので第一主日はどこに？と思いますが、主の洗礼の週が第一週なので、第一主日は隠れています。イエスは洗礼を受けて宣教生活に入られたので、最初の年間はイエスの宣教を記念します。今日の福音の奇跡は宣教開始間もない頃の出来事ですが、母や弟子とともに婚宴に招かれていますので、弟子は集めているもののプライベートな生活の出来事のようにも思えます。ヨハネの福音は他の三つの福音のように、イエスの宣教開始についてははっきりと記されているわけではないので、ちょうどその過渡期の出来事として記されているのではないのでしょうか。

披露宴でお酒がなくなるのはえらいことです。酒飲みの親戚は「酒はないのか！」と騒ぎ出し、花婿は地元でいつまでも「あいつは婚宴で酒を切らしおった」とはずかしめられることでしょう。その緊急事態に気づいた母マリアがイエスに願い、水がぶどう酒に変えられて事なきを得てめでたしめでたし。というところですね。

ちょっと待ったあ！たしかにそうだけど、ほかの奇跡と違って命にかかわることじゃないし、悪いのは用意していなかった花婿だし、第一花婿本人はイエスの奇跡を知らないわけだし。恥ずかしい思いをするのも自業自得ですね。母マリアもイエスが断っているのに強引に頼んでいますね。これはどういうわけでしょうか。むしろ、この出来事のなかにイエスがどのような方であるかが象徴的に示されているのではないのでしょうか。

婚宴はイエスのたとえに見られるように神の国の喜びを思い起こさせます。神の国の婚宴の主役はもちろんイエスですが、今日の福音では脇役のように見えます。しかし、イエスは主役でありながらわたしたちのために奉仕してくださる方なので、イエスのあり方を示しているとも考えられます。そこで用いられるぶどう酒は、宴会に欠くことのできないものです。ぶどう酒がないことは救いがないことを表しているという説明もあります。いずれにしても、イエスは自分の命を犠牲にして、すべての人が神の国の救いにあずかれるよう奉仕してくださる方であることを表していると考えられるでしょう。

この奇跡はたしかに母マリアが頼んだから起こったのですが、ほかの人が頼んだらどうだったのでしょうか。おそらくイエスは答えてくださったと思いますが、ここで大切なことはマリアのイエスに対する信頼です。母だからというよりも、イエスはその信仰ともいえる信頼に応えて奇跡を行われたのではないのでしょうか。

わたしたちも神の国の宴会に招かれています。宴会の主役は主イエス、けれども宴会を用意し、愛をもって奉仕してくださるのもイエスです。わたしたちはその愛と奉仕に応え、宴会に多くの人を招くようにと呼びかけられています。新しい年を迎えても世界の現状は神の国に遠いようにも思いますが、かならず主は実現してくださるという信頼をもって、母マリアのとりなしを願いながら歩んで行きましょう。 (柳本神父)